

校長室だより NO2

2021年5月26日

柏市立土小学校 校長 梅津健志

スポーツフェスタ 無観客の熱いレース展開

運動会に替えた学校行事、スポーツフェスタを行いました。

土小学校のグラウンドでの開催は、2年ぶりとなります。

コロナ禍により、無観客での実施となり、初のインターネットライブ配信でご覧いただくこととなりました。学校に子供の姿を見に来たいという気持ちを抑えての配信観戦なのだということが、最大1200アクセスという、児童の3倍のアクセスがあったことにも表れており、ご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

5月に入ってから、それぞれの学年の状況に合わせて練習を行ってきました。

今年は、ダンスや表現運動に取り組みませんでした。その分、徒競走や障害物走といった走る運動と団体競技（玉入れや大玉ころがし）で、勝つために作戦を考えたり、自分ができる最大のことに努力したりすることに力を入れて取り組んできました。1年生と6年生では、その姿は違いますが、自分ができる最大の努力をする姿勢が見られたでしょうか。登校中に1年生の子と話しながら歩いていた時、

「スポーツフェスタは何が楽しいの?」「競争がたのしい」「何位だったの?」「3位」「そう明日は何位になりたい?」「2位」と言っていました。

1位という声を期待しながら、そうだな2位になろう!って思うところに、この子の最大の努力があるなあ、と会話をしながら感じました。

高学年のリレーは、5・6年生でチームを組んで、6年生がリーダーシップを発揮して練習を積み重ねてきました。50mのタイムの足し算では、どのチームも同じ位の速さのチームです。バトンパス次第で、その勝敗が分かれます。休み時間にも練習する様子がたくさん見られ、今日のバトンパスは後ろを見ないでスピードに乗ったパスが展開されており、努力した姿に感動しました。今夜はお子様から色々なお話を聞いて、映像では見えないものを感じていただきたいと思います。土小が目指す、「たくましく」の3つの姿がみえたでしょうか?スポーツフェスタに関しての学校評価アンケートをオンラインで実施します。

すくすくメールで回答サイトをお送りしますので、ご協力をお願いします。

たくましく

- 自分の目標を持ち、調整しながら進み続ける
- 何度も挑戦し、トライ&エラーで新しい方法を見つける
- 悩んだ時に前向きに解決に向かうことができる

スーパームーンのスーパー皆既月食

今夜は皆既月食。月食は満月の夜に起きる現象ですね。子供たちにその仕組みを教えながら、夜空を一緒に見上げてください。寒くなく、暑くなく、そして夜の始まりと共に月食が始まるという、小学生にとって最高の観測機会です。普通であれば、月食観測会を学校で開きたいと思うところです。

私は、月食というと小学校2年の時に皆既月食を観察したことをおぼえています。

親がコンパスで描いた直径10cmぐらいの円のどこが欠けているか、5分ごとに観察して、円を黄色と黒のクレヨンで塗りながら月が無くなるのをワクワクし、全部を貼ると巻物のようなになったという楽しい記憶を思い出します。その後は夜空に興味を持ち、自由研究は夜空系が多かったのです。

小さな時の感動を伴う経験は、後々の大きな自信や興味の広がりにつながります。今夜の天体ショーが、子供たち一人一人に色々な感動をくれると思います。

スポーツフェスタと共に、記憶に残る日になって欲しいと願っています。